

令和2年度 事業計画及び収支予算

令和2年（2020年）4月 1日から
令和3年（2021年）3月31日まで

一般財団法人 下松市笠戸島開発センター

目 次

一般財団法人下松市笠戸島開発センター事業計画・・・P. 1

一般財団法人下松市笠戸島開発センター収支予算・・・P. 10

一般財団法人下松市笠戸島開発センター
収支予算内訳表・・・・・・・・・・・・・・・・・・P. 12

資金調達及び設備投資の見込みについて・・・・・・・・・・P. 14

令和2年度 事業計画

令和2年（2020年）4月 1日から
令和3年（2021年）3月31日まで

令和2年度一般財団法人下松市笠戸島開発センター

事業計画

1. 令和2年度基本方針

本年度は、次期指定管理を受託すべく、さまざまな事にチャレンジする年でございます。当財団といたしましては、市の見解や地元の皆様方と意見交換を行いつつ、市民の皆様から愛される財団を目指して参ります。定款にも記載されている、「観光振興、レクリエーション及びふれあい交流に関する事業」においては、更なる交流人口の増大に寄与すべく、笠戸島や下松市の活性化に努めて参ります。財務面でも、令和元年度の実績を踏まえつつ、更なる健全な財団運営に努めて参ります。

国民宿舎大城につきまして、収益面では「国民宿舎事業中長期計画」にのっとり売上を目標に、費用面では令和元年度の実績を踏まえ、更なる経費削減に邁進して参ります。当施設が無くてはならない施設である事を職員ひとりひとりが認識することはもちろん、利用されるお客様、取引業者、市民の皆様や周辺地域の方々にとっても必要不可欠な施設であることを目指して参ります。そのためにも利用者数増加を図ることはもちろん、未来に向けた継続可能な運営に努めて参ります。

また、笠戸島家族旅行村につきましては、昨年引き続き、冬期利用者数の増加を図るため、各種イベントの実施をして参ります。また、市と協議しながら設備の整備や改修を実施する等、時代のニーズに合った管理運営と、更なる交流人口の拡大に努めて参ります。

2. 法人の目的を達成する為の事業

当財団の設立目的である、「労働の疲労を回復させ健全なレクリエーションの場を提供し、地域住民の福祉の向上と健康の増進を図るとともに、下松市の観光振興を図り交流人口の増大に寄与し、地域の活性化及び地域社会の健全な発展に寄与する」ために、以下の事項を基本として実施します。

(1) 国民宿舎事業

① 愛され誇れる国民宿舎

- ・ 地元、市民、周辺地域の皆様やお客様に愛されつつ、職員が誇れる国民宿舎を目指します。

② 地元第一の国民宿舎

- ・ 地元の皆様に親しまれ、紹介して頂ける施設としての国民宿舎を目指します。

③ 地域経済発展の国民宿舎

- ・ 地域企業や地域団体との関係を重視し、市の経済活動に寄与できる国民宿舎を目指します。

(2) 笠戸島家族旅行村管理運営事業

① 維持管理業務

- ・ アウトドア環境の変化に柔軟に対応すべく、予約システムやホームページの開設、SNSの活用など、現在のニーズに合ったIT環境を充実させつつ、お客様が快適に利用できるよう努めます。
- ・ 良好な衛生環境、美観を維持し、また設備の更新にも努めることで公共施設として、安全で快適な空間を保てるよう努めます。

② 軽食提供業務・売店業務

- ・ 軽食の提供やバーベキューガーデンの食材提供、売店商品の販売を行い、気軽に足を運んで頂ける接客に努めます。

③ レクリエーション及びふれあい交流業務

- ・ 各種イベントを実施し交流人口の増大を図るとともに、福祉施設等の各種団体への施設利用を促進し交流の場となるよう努めます。

(3) はなぐり海水浴場管理運営事業

- ① 遊泳者や海の状況を監視しつつ天候にも留意し、遊泳区域の危険箇所、危険生物の注意喚起等に気を配り、お客様の安全第一に努めます。
- ② お客様の安全を確保するため、緊急時に迅速に対応出来るよう救急救命講習の受講等を行います。
- ③ お客様に快適に過ごして頂くため、管理区域内の環境美化に努めます。

(4) 誘致宣伝と交流の場の提供事業

交流人口拡大の一環として、各種イベントの開催や場所の提供をするとともに、他団体が実施する各種イベントにも積極的に協力いたします。

<令和2年度予定>

時期	行事名	内容
5月	笠戸島まつり	笠戸島に訪れるきっかけとしてのイベント。 会場提供と運営に協力するとともに飲食物や売店商品の販売を実施。
7月	はなぐり海水浴場海開き	はなぐり海水浴場管理運営事業として、安全祈願祭の準備や進行を実施。

7月	夏休み親子陶芸教室	親子の日普及プロジェクトとしてのイベント。作品の製作を通じて親子の会話やふれあいの時間を提供するよう会場の提供を実施し、PRも行う。
7月	キャンプ用品の展示即売会	新作キャンプ用品の展示会場を提供し、PRも行う。
8月	産業観光ツアー（親子）	飲食物や売店商品の販売を実施し、PRも行う。
8月	職場体験（教職員）	教職員を対象に職場体験実習の受け入れを実施。
8月	くだまつ笠戸島 マリンイカダレース大会	笠戸島を訪れるきっかけとしてのイベント。駐車場や入賞賞品の提供及びレース当日までの環境維持整備を実施。
9月	道の駅フェスタ	大城特製弁当や売店商品（特産品）の販売を実施し、PRも行う。
9月	くだまつ総踊り	飲食物の販売を実施し、PRも行う。
10月	夕風の丘フェスティバル	演奏イベントと野外イベントの会場を提供し、PRも行う。
10月	産業観光ツアー（一般）	飲食物や売店商品の販売を実施し、PRも行う。
11月	農業公園秋まつり	飲食物の販売を実施し、PRも行う。
12月	まるごと笠戸島	笠戸島を訪れるきっかけとしてのイベント。飲食物の販売を実施し、PRも行う。

1月	笠戸島キッズランフェスタ	子供達のスポーツ振興イベント。健康づくりに貢献するとともに、親子の会話やふれあいの時間を持って頂けるよう会場の提供を実施し、PRも行う。
2月	河津桜まつり	笠戸島に約500本植えられている河津桜のPRイベント。会場提供と運営に協力するとともに飲食物や売店商品の販売を実施し、PRも行う。
2月	くだまつ笠戸島アイランドトレイル	笠戸島に訪れるきっかけとしてのイベント。前日は宿泊、前夜祭での飲食物の提供を実施。当日は会場提供と運営に協力するとともに給水場所の提供や送迎バスの運行を実施し、PRも行う。
3月	がんばろう日本フェスタ	飲食物の販売を実施し、PRも行う。
3月	宝の島っ子卒業イベント	笠戸島在住の小学校卒業生を対象に笠戸島の魅力を記憶に残してもらおうイベント。会場や飲食物の提供、送迎バスの運行を実施。
通年	健康増進イベント	骨密度測定など健康をテーマにしたイベント。会場提供することで温泉PRも行う。
通年	スポーツ大会等への出店	売店商品（特産品）の販売を実施し、PRも行う。
通年	自動車同好会への協力	周辺ゴミ拾いボランティア活動への協力として駐車場の提供を実施。

冬期	旅行村集客イベント	冬期の客足が遠のく時期に集客イベントを実施。
----	-----------	------------------------

(5) 観光案内業務

周辺地域と連携して、笠戸島はもちろん、下松市や周辺地域の観光情報を提供し、観光客の要望に応えられるよう、観光案内業務に努めます。

- ・ 周南三市や県内各市の観光パンフレットを設置し、下松市のみではなく県内の観光振興にも寄与いたします。

3. 財団運営・管理方針

(1) 集客

- ① 平日利用を向上させるため、お客様のニーズに応じたプランを増やし、インターネット販売の促進やパンフレットの作成、リピーターにはダイレクトメールにより情報発信を行います。
- ② ホームページの更新頻度を高めるとともに、SNS発信に関しては、各課週替わり担当制を継続し、行ってみたいと思われるような営業活動に努めます。
- ③ エージェントへの営業を強化し、拡販活動及びPRを行い、ツアー客の獲得に努め、来館されたお客様にはリピートして頂けるよう努めます。
- ④ 気軽に利用して頂ける価格帯を継続することで、リピーター数の増大を図ります。更に、「笠戸ひらめ」と「笠戸とらふぐ」に特化した料理を提供し、加えて美しい景観等により、お客様の良い思い出として残ることで口コミ増加させ、更なる集客に努めます。

- ⑤ 下松市観光協会、下松商工会議所、下松旅館組合、下松飲食業協同組合等の関係団体、更に今年リニューアルオープンする下松市栽培漁業センターと密に連携し、積極的な情報発信に努めます。
- ⑥ 大城温泉については、快適な環境を維持しつつ、お客様の利便性を図るとともに、旅行村にある足湯のPRにも努めます。

(2) 接客・接遇

- ① 職員一人ひとりが常にプロ意識を持ち、常に今何をすべきか考えながら接客に取り組めます。
- ② 快適な癒しの空間を常に提供するために、服装や言葉遣いにも留意し、お客様に不快の念を抱かせないよう努めます。
- ③ お客様との会話を心掛け、お客様の要望を察知し行動できるようにするため、知識や情報を収集しつつ細やかな接客に努めます。

(3) 料理

- ① 下松市笠戸島の特産品である「笠戸ひらめ」と「笠戸とらふぐ」を料理の中心に置き、市内の特産品である「来巻にんにく」や「笠戸島レモン」、新たに「米川ゆず」なども取り入れる事で地産地消に努め、四季に応じた料理を提供します。
- ② 食事原材料については品質・価格を徹底的に追及し、お客様に満足して頂ける料理を提供します。
- ③ HACCPの施行に伴い、食の安全・安心に関して、更なる万全を期し、お客様の信頼を得られる料理を提供します。

- ④ お客様にとっては一期一会のお集まりであることに留意し、良い思い出として記憶に残る料理の演出に努めます。

(4) 収益性及び原価の改善

- ① 宿泊部門は、宿泊者数増加のため、さまざまなプランを企画するとともに、客室単価向上のため、特産の「笠戸ひらめ」・「笠戸とらふぐ」を使ったメニューに重点を置くことで、売上を最大化するよう努めます。
- ② 宴会部門では、同窓会・忘新年会・歓送迎会等、顧客増加のためのプランを企画するとともに、季節イベントや祝事・法要等において、お客様のニーズに合わせた料理やセッティングを行い、顧客満足度を高めることでリピーターの増加に努めます。
- ③ 「聖域」無き経費の見直しを追求し、利益を阻害する要因を徹底的に削除します。
- ④ 市場調査や同業者等との情報交換を密にするとともに、納入業者にも最大限の協力を求め、原価の改善に努めます。
- ⑤ 食事材料や酒類飲料材料は、在庫管理や品質管理を徹底し、廃棄ロスや過剰在庫を持たないように原材料の適正化に努めます。
- ⑥ 売店材料は、売値の改善等を実施するとともに回転率の良い商品を抜粋し、収益の上がる店舗作りに努めます。

(5) 防災、安全衛生対策

- ① 笠戸島の防災拠点の責務を果たすため、備蓄品の管理を行い、地域住民の安全確保と迅速な対応に努めるとともに、お客様の安全確保のため、消防署の協力による各種訓練を実施し、迅速な対応ができるよう努めます。

- ② 定期的な点検・巡視を実施し、4 S（整理・整頓・清潔・清掃）の徹底と、危険箇所の早期発見、早期改善に努めます。
- ③ 専門業者による害虫駆除及びHACCPの12手順、7原則の管理手法を活用し、食中毒の防止に努めるとともに、食品衛生の研修に力を入れ、知識の習得に努めます。
- ④ 大城の浴槽、家族旅行村の足湯浴槽における洗浄・殺菌等を徹底するとともに、衛生管理のチェックを実施し、レジオネラ菌発生防止に万全を期します。
- ⑤ 安全衛生委員会を通じ、職員への健康管理の情報提供を行い、労働損失を防ぐよう努めます。

（6）施設等の改善

保守点検を始め、お客様からの声や職員の目による、修繕・更新に努めるとともに、出きるだけ破損や故障の無いよう努めます。

（7）財団財産管理

一般財団法人として、正確で迅速な事務、財産管理、労務管理、顧客管理等に取り組み、各事業の活動基盤の確保に努めます。

（8）人材育成

当財団を維持しつつ、当財団にて誇りを持って働くために、財団職員である個々の主体性や自律性を持たせ、能力向上を図るとともに、社会人としての規律維持に努めます。

令和2年度 収支予算

令和2年（2020年）4月 1日から
令和3年（2021年）3月31日まで

令和2年度 一般財団法人下松市笠戸島開発センター収支予算

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

【単位:円】

科 目	当年度	前年度	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	3,000	3,000	0	
基本財産受取利息	2,000	2,000	0	
特定資産受取利息	1,000	1,000	0	
事業収益	441,010,000	443,059,000	△ 2,049,000	
宿泊料	132,300,000	132,300,000	0	
会議室料	480,000	360,000	120,000	
休憩料	510,000	910,000	△ 400,000	
食事料	270,920,000	271,940,000	△ 1,020,000	
酒類及び飲料	36,800,000	37,549,000	△ 749,000	
売店売上収益	45,080,000	52,550,000	△ 7,470,000	
売店収入	45,080,000	52,550,000	△ 7,470,000	
その他事業収益	50,060,000	41,340,000	8,720,000	
温泉使用料	36,300,000	29,950,000	6,350,000	
使用料	6,760,000	6,530,000	230,000	
雑収益	7,000,000	4,860,000	2,140,000	
受託料収益	35,331,000	35,750,000	△ 419,000	
管理収益	267,000	280,000	△ 13,000	
受託料	35,064,000	35,470,000	△ 406,000	
雑収入	6,860,000	5,801,000	1,059,000	
受取利息	1,000	1,000	0	
雑収入	6,769,000	5,710,000	1,059,000	
他会計からの繰入	90,000	90,000	0	
経常収益計	578,344,000	578,503,000	△ 159,000	
(2) 経常費用				
事業費	553,574,000	551,303,000	2,271,000	
給料	70,800,000	72,360,000	△ 1,560,000	
手当	37,500,000	36,420,000	1,080,000	
賃金	77,115,000	67,809,000	9,306,000	
退職給付支出	4,800,000	4,390,000	410,000	
法定福利厚生費	21,355,000	25,895,000	△ 4,540,000	
厚生福利費	1,110,000	930,000	180,000	
旅費	380,000	360,000	20,000	
被服費	720,000	1,030,000	△ 310,000	
食事材料費	103,285,000	105,090,000	△ 1,805,000	
酒類飲料材料費	14,745,000	15,050,000	△ 305,000	
売店材料費	32,510,000	38,880,000	△ 6,370,000	
備消耗品費	23,315,000	24,494,000	△ 1,179,000	
燃料費	12,100,000	12,640,000	△ 540,000	
光熱水料費	26,400,000	26,260,000	140,000	
印刷製本費	1,990,000	2,450,000	△ 460,000	
通信運搬費	3,280,000	2,750,000	530,000	
広告料	3,700,000	3,200,000	500,000	
使用料及び手数料	11,953,000	11,426,000	527,000	
委託料	75,318,000	71,036,000	4,282,000	

令和2年度 一般財団法人下松市笠戸島開発センター収支予算

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

【単位:円】

科 目	当年度	前年度	増減	備考
研修費	180,000	110,000	70,000	
負担金	734,000	720,000	14,000	
賃借料	13,336,000	13,013,000	323,000	
公租公課	155,000	172,000	△ 17,000	
修繕費	4,015,000	2,600,000	1,415,000	
保険料	1,530,000	1,640,000	△ 110,000	
洗濯料	9,070,000	8,740,000	330,000	
販売促進費	1,380,000	1,000,000	380,000	
食糧費	94,000	264,000	△ 170,000	
交際費	94,000	64,000	30,000	
減価償却費	420,000	320,000	100,000	
法人税等	100,000	100,000	0	
他会計への繰出	90,000	90,000	0	
経常費用計	553,574,000	551,303,000	2,271,000	
評価損益等調整前当期経常増減額	24,770,000	27,200,000	△ 2,430,000	
基本財産評価損益等	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	24,770,000	27,200,000	△ 2,430,000	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産取得支出	0	0	0	
雑支出	0	0	0	
予備費	60,000	100,000	△ 40,000	
経常外費用計	60,000	100,000	△ 40,000	
当期経常外増減額	△ 60,000	△ 100,000	40,000	
他会計振替額			0	
当期一般正味財産増減額	24,710,000	27,100,000	△ 2,390,000	
一般正味財産期首残高	△ 56,202,509	△ 83,302,509	27,100,000	
一般正味財産期末残高	△ 31,492,509	△ 56,202,509	24,710,000	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	71,200,000	71,200,000	0	
一般正味財産振替額	0	0	0	
指定正味財産期末残高	71,200,000	71,200,000	0	
III 正味財産期末残高	39,707,491	14,997,491	24,710,000	

令和2年度 一般財団法人下松市笠戸島開発センター収支予算内訳表

令和2年4月1日～令和3年3月31日まで

【単位：円】

科目	国民宿舎事業	笠戸島家族旅行村事業	はなぐり海水浴場事業	小計	法人会計	内部取引消去	合計	備考
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	0	0	3,000	0	3,000	
基本財産受取利息	0	0	0	0	2,000		2,000	
特定資産受取利息	0	0	0	0	1,000		1,000	
事業収益	436,060,000	4,950,000	0	441,010,000	0	0	441,010,000	
宿泊料	132,300,000	0	0	132,300,000	0		132,300,000	
会議室料	480,000	0	0	480,000	0		480,000	
休憩料	510,000	0	0	510,000	0		510,000	
食事料	266,420,000	4,500,000	0	270,920,000	0		270,920,000	
酒類及び飲料	36,350,000	450,000	0	36,800,000	0		36,800,000	
売店売上収益	42,100,000	2,980,000	0	45,080,000	0	0	45,080,000	
売店収入	42,100,000	2,980,000	0	45,080,000	0		45,080,000	
その他事業収益	44,560,000	5,500,000	0	50,060,000	0	0	50,060,000	
温泉使用料	36,300,000	0	0	36,300,000	0		36,300,000	
使用料	1,260,000	5,500,000	0	6,760,000	0		6,760,000	
雑収益	7,000,000	0	0	7,000,000	0		7,000,000	
受託料収益	0	31,810,000	3,521,000	35,331,000	0	0	35,331,000	
管理収益	0	0	267,000	267,000	0		267,000	
受託料	0	31,810,000	3,254,000	35,064,000	0		35,064,000	
雑収入	4,010,000	2,760,000	0	6,770,000	90,000	0	6,860,000	
受取利息	0	1,000	0	1,000	0		1,000	
雑収入	4,010,000	2,759,000	0	6,769,000	0		6,769,000	
他会計からの繰入	0	0	0	0	90,000		90,000	
経常収益計	526,730,000	48,000,000	3,521,000	578,251,000	93,000	0	578,344,000	
(2) 経常費用								
事業費	501,990,000	47,970,000	3,521,000	553,481,000	93,000	0	553,574,000	
給料	68,760,000	2,040,000	0	70,800,000	0		70,800,000	
手当	36,000,000	1,500,000	0	37,500,000	0		37,500,000	
賃金	55,680,000	19,350,000	2,085,000	77,115,000	0		77,115,000	
退職給付支出	4,800,000	0	0	4,800,000	0		4,800,000	
法定福利厚生費	18,840,000	2,500,000	15,000	21,355,000	0		21,355,000	
厚生福利費	1,020,000	90,000	0	1,110,000	0		1,110,000	
旅費	330,000	50,000	0	380,000	0		380,000	
被服費	600,000	120,000	0	720,000	0		720,000	
食事材料費	101,260,000	2,025,000	0	103,285,000	0		103,285,000	
酒類飲料材料費	14,520,000	225,000	0	14,745,000	0		14,745,000	
売店材料費	30,310,000	2,200,000	0	32,510,000	0		32,510,000	
備消耗品費	20,700,000	2,538,000	67,000	23,305,000	10,000		23,315,000	
燃料費	11,500,000	600,000	0	12,100,000	0		12,100,000	
光熱水料費	22,900,000	3,500,000	0	26,400,000	0		26,400,000	
印刷製本費	1,570,000	400,000	10,000	1,980,000	10,000		1,990,000	
通信運搬費	2,970,000	300,000	10,000	3,280,000	0		3,280,000	
広告料	2,500,000	1,200,000	0	3,700,000	0		3,700,000	
使用料及び手数料	11,690,000	250,000	10,000	11,950,000	3,000		11,953,000	
委託料	68,490,000	5,500,000	1,258,000	75,248,000	70,000		75,318,000	
研修費	120,000	60,000	0	180,000	0		180,000	
負担金	650,000	84,000	0	734,000	0		734,000	
賃借料	12,090,000	1,200,000	46,000	13,336,000	0		13,336,000	

令和2年度 一般財団法人下松市笠戸島開発センター収支予算内訳表

令和2年4月1日～令和3年3月31日まで

【単位:円】

科 目	国民宿舎事業	笠戸島家族旅行村事業	はなぐり海水浴場事業	小計	法人会計	内部取引消去	合計	備考
公租公課	135,000	20,000	0	155,000	0		155,000	
修繕費	2,315,000	1,700,000	0	4,015,000	0		4,015,000	
保険料	1,370,000	160,000	0	1,530,000	0		1,530,000	
洗濯料	8,820,000	250,000	0	9,070,000	0		9,070,000	
販売促進費	1,320,000	60,000	0	1,380,000	0		1,380,000	
食糧費	60,000	24,000	10,000	94,000	0		94,000	
交際費	60,000	24,000	10,000	94,000	0		94,000	
減価償却費	420,000	0	0	420,000	0		420,000	
法人税等	100,000	0	0	100,000	0		100,000	
他会計への繰出	90,000	0	0	90,000	0		90,000	
経常費用計	501,990,000	47,970,000	3,521,000	553,481,000	93,000	0	553,574,000	
評価損益等調整前当期経常増減額	24,740,000	30,000	0	24,770,000	0	0	24,770,000	
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常増減額	24,740,000	30,000	0	24,770,000	0	0	24,770,000	
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	
(2) 経常外費用								
固定資産取得支出	0	0	0	0	0	0	0	
雑支出	0	0		0	0	0	0	
予備費	30,000	30,000	0	60,000	0	0	60,000	
経常外費用計	30,000	30,000	0	60,000	0	0	60,000	
当期経常外増減額	△ 30,000	△ 30,000	0	△ 60,000	0	0	△ 60,000	
他会計振替額						0	0	
当期一般正味財産増減額	24,710,000	0	0	24,710,000	0	0	24,710,000	
一般正味財産期首残高	△ 57,095,424	700,109	0	△ 56,395,315	192,806	0	△ 56,202,509	
一般正味財産期末残高	△ 32,385,424	700,109	0	△ 31,685,315	192,806	0	△ 31,492,509	
Ⅱ 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	71,200,000	0	71,200,000	
一般正味財産振替額	0	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	71,200,000	0	71,200,000	
Ⅲ 正味財産期末残高	△ 32,385,424	700,109	0	△ 31,685,315	71,392,806	0	39,707,491	

一般財団法人下松市笠戸島開発センター

資金調達及び設備投資の見込みについて

令和2年4月1日から令和3年年3月31日まで

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借り入れの予定はありません。

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む）の
予定はありません。